

『未来に続くいのちのために』

～お医者さんの目から見える世界とは～

講師 岡山 博 師 (元仙台赤十字病院医師)

2015年 6月13日 (土) 開催

午後1時30分 開会 / 午後4時30分 閉会

会場：せんだいメディアテーク (スタジオシアター / 7階)

住所：仙台市青葉区春日町2-1 (定禅寺通沿い)

公開
講演会



日
程

午後1時00分 受付
1時30分 開会
1時40分 講演 (岡山 博 師)
2時40分 休憩
2時55分 ディスカッション
3時45分 質疑・応答
4時30分 閉会

【参加について】

- ☆どなたでも参加可能で、参加費は無料です。
- ☆参加申込は不要で、先着180名までです。
- ☆保育室を設ける予定です。利用される方は、6月5日までに下記の問合せ先へ必ずご連絡ください。

【問合せ先】 真宗大谷派 (東本願寺) 仙台教務所

仙台市宮城野区小田原1-2-16 TEL 022-297-2824

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、私たちの生活は未知なる放射能からの被ばくというリスクにさらされ、不安の闇を彷徨い続けているように感じます。真偽のわからない情報が錯綜し、経済政策を優先する国の方針も信じ切ることができません。子どもたちを守ろうとする気持ちはだんだんと疲弊し、被ばくについて考えることも放棄したくなるような状況の中、本当に「私たちがしなければならないこと」「私たちにできること」とはいったい何なのでしょうか？

これまでの研修を通して、岩手県や宮城県の方々も生活の現場で放射能に対する不安を抱えているということがわかりました。けっして「福島の」「福島だけの」問題ではないのです。

このたび、広く課題を共有することを願い、公開での講演会を開催いたします。放射能や被ばくについての基本的な知識だけでなく、お医者さんの立場から放射能の影響や国の施策についてどのように見えているのかをお聞きます。聞くこと・知ること・考えること、そして一人ひとりが自分で判断していける第一歩となることを切に願います。

せんだいメディアテーク



主催：真宗大谷派 (東本願寺) 仙台教区教化委員会 社会部